

NPOワンポイントアドバイス!

「会議」を効果的・効率的に行うことができると、組織の力も強くなっていきます。
 そのためには、会議のタイプ別に攻略法を知る必要があります。
 そこで、43号からシリーズで紹介している会議のタイプ別攻略法。今回は、第3弾になります。

4. アイデアを整理する会議

アイデアは、出しっぱなしでは意味がありません。そこで、出たアイデアを意味のあるものにするために必要な整理のしかたをご紹介します。

a. 次元をそろえる

アイデアの整理の第一歩は、次元をそろえることです。

例えば、イベントの屋台に出す食べ物を考える時、「おでん」「焼きそば」「たこやき」といったアイデアに並んで「洋食」とか「何か冷たいもの」というアイデアが混ざっていると議論が整理しづらくなります。次元がバラバラの時は、「料理の品目」か「料理のタイプ」なのかのように、まず、どういう観点から整理するのかを決めましょう。

b. 軸を使って整理する

たくさん出されたアイデアを、二つの軸で分類してみる方法です。例えば、縦軸を「ニーズ」、横軸は「実現可能性」とし、それぞれの高い低いを考えながら配置し直すと、今すぐ必要でかつ実現可能が高いものが見えてきます。既に質の高いアイデアが出ていたり、たくさんあるものの中から何か一つを選び出す場合に向いています。

c. グループ分けしてみる

バラバラに出てきたアイデアを、近いものどうしでグループ分けし分布図のようにしていく方法です。全ての要素を洗い出して対策を考えていく時や、多様な要素をまとめていく時などに有効です。付箋と模造紙を使ったKJ法や、コピー用紙を床に置いていく床面整理法などがあり、チームとしての一体感を高めることも期待できます。

参考: 青木将幸著『市民の会議術 ～ミーティング・ファシリテーション入門～』（ハンズオン埼玉出版局）



センター長のつぶやき

まちづくりセンターセンター長 丸藤 競

「地域を元気にする4つのベル」というのがあります。食べる・しゃべる・遊べる・学べる。この4つがあると、地域に住んでいる人たちがみんな元気でいられるようになるそうです。では、どうすればこの4つのベルを鳴らすことができるようになるのでしょうか。

一番は、社会参加を積極的にしていくことです。社会参加というと難しく聞こえてしまうかもしれませんが、ボランティアをしたり、サロンや居場所に顔を出してみたり、趣味の集まりや

まちづくり活動に参加していくことも社会参加になります。町会活動や、隣近所のちょっとだけ困っている人への助け合いも、イベントやコンサート、フォーラムなどへの参加ももちろん社会参加です。

社会参加なんて一部の人のやること、あるいは仕方なくやらされるもの、と思っている方がいるかもしれませんが、それは間違いです。東京都健康長寿医療センターの調べでは、毎日のように外に出て何かをしている人と、外に出るのが一週間で一回以下の人とでは、出ない人の方が約3.5倍、認知症になりやすいというデータもあります。つまり、自分の元気のために一番効果的なのが社会参加なんです。

社会参加をしていくと、自分も地域も元気になっていくということです。あんまりお金もかからないし、充実感は保証します。みなさんも、ぜひ積極的に社会参加して、地域に4つのベルを奏でてみてください。